

# 株式会社エルゴジャパン「スモーククリア」

～「クリア分煙」を実現する高性能＆リーズナブルな喫煙ブース～

職場の全面禁煙が進む中、喫煙者と非喫煙者の間にある現実的な問題はスローガンだけでは解決しない。エルゴジャパンは高性能の喫煙ブースによる“クリア分煙”を提唱する。

## この記事の 要点

- ・高い空気清浄性能で喫煙者にも非喫煙者にも快適な環境を実現
- ・省スペース＆簡単設置（ダクト工事不要）、低価格利用が可能
- ・職場の喫煙課題に対する現実的な環境整備というソリューション

## ■定着してきた職場の全面禁煙への動き

改正健康増進法が施行された2020年4月、一般企業オフィスや工場などの施設では原則として屋内禁煙が全面施行された。厚生労働省が今年3月に公表した「喫煙環境に関する実態調査(21年度)」では、事務所や工場など一般施設における屋内全面禁煙の実施は全体の70.1%、喫煙専用室の設置は11.2%だった。

本誌が民間企業および自治体計86団体に実施した「健康経営・健康増進への取り組み（22年）」調査結果でも、禁煙対策としての「全社・全庁完全禁煙」は52.1%、「喫煙場所・時間の制限」は68.4%となっていた（本誌22年7月上旬号）。

現在進行形ではあるが、全面禁煙は標準的な職場環境として既に常識となっており、そのための職場環境および執務ルールの整備も当然視されている。経済産業省が定める健康経営優良法人認定制度の認定基準でも受動喫煙対策は重要な項目とされ、その要求水準も年々高まっている。

## ■喫煙と非喫煙の間に存在する現実課題

職場の禁煙は常識化したけど、喫煙という行為は個人の自由な嗜好でもある。役職員や顧客を含め多くの人が集う職場には、喫煙者と非喫煙者が常に混在しているのも現実だ。そのため、両者間には様々なコンフリクトやストレスが生じ、現実には問題、課題が存在している。だからこそ、改正健康増進法も、それら現実の諸課題を解決すること

## 株式会社エルゴジャパン 概要

|      |                                                                         |
|------|-------------------------------------------------------------------------|
| 設立   | 2005年9月（創業1989年6月）                                                      |
| 所在地  | 東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勤業ビルディング7F                                             |
| TEL  | 050 - 3627 - 4605                                                       |
| 主な事業 | スモーククリア事業、アミューズメント事業                                                    |
| 企業理念 | 「エルゴノミクスで、人にもっと快適を」                                                     |
| URL  | <a href="https://www.ergojapan.co.jp/">https://www.ergojapan.co.jp/</a> |

図表1 高性能コンパクトな喫煙ブース「スモーククリア」



注 左から、1人用、4人用、2人用

で、望まない受動喫煙を防止するよう事業主に義務付けているのだ。

例えば、職場から遠く離れた喫煙施設を設置する分煙対策を講じて、喫煙後の頭髮や衣服に付いた臭いが非喫煙者のストレスになることもある。執務を中断して遠くまで喫煙しに行くこと自体への批判や不公平感といった課題も生じやすい。

また、屋外の喫煙場所でも、煙が過剰に漂う場合には周辺地域からの苦情が寄せられ、そうした

場で休憩する従業員の姿にも悪印象を抱かれるケースも生じつつある。企業にとってそうしたレピュテーションリスクも既に無視できないレベルにある。

こうした現実課題をうまくコントロールできなければ、職場の生産性向上の障害となるばかりか、ブランドイメージを毀損する可能性も否定できなくなった。その解決策として、職場の環境調整の必要性が明らかに高まっているのだ。そして、その効果的な手段の一つが、喫煙専用設備（分煙設備）の導入だ。

### ■ソリューションとしての高性能喫煙ブース

「スモーククリア」は、株式会社エルゴジャパンが19年秋から販売している小型高性能の喫煙ブースだ。

機能の要である空気清浄ユニット部にヨーロッパ規格最高クラスH14 HEPAフィルターを採用し、1回のろ過で有害物質を99.995%除去する。さらに、煙草の有毒ガス成分と臭いを完全にシャットアウトする特許出願中の高圧縮カーボンフィルターを組み合わせた多層フィルター構造としている。それらによって、厚生労働省の厳しい基準<sup>注1</sup>をクリアする空気清浄機能を備えている。

ブース壁面全体で煙を吸引する設計により、タバコの煙が喫煙者の身体から速やかに離れる空気の流れを作り出している。そのため、ブースで喫煙しても、頭髮や衣服に臭いが残ることが抑制でき、執務に戻っても周囲に「タバコ臭」を感じさせにくい。

また、スリムなフォルムの「自然消煙灰皿ニードル（別売オプション）」は、確実な消火により火災のリスクが少ない酸欠方式を取っており、スペースの有効活用と安全対策の向上も図ることができる。

さらには、設置面積0.5畳から、天井高は2.2m以下で設置可能という省スペースのコンパクト設計であり、機能性とデザイン性を高いレベルで両立させている（図表1、図表2）。

何より、こうした空気清浄設備の設置においては、排気用ダクト工事などの負担が大きい印象があるが、「スモーククリア」はダクト工事が不要<sup>注2</sup>という利点がある。これは、同機の空気清浄機能が、内部排気のみで法定の技術基準を満たす

図表2 有害物質除去&タバコ臭を残さない空気清浄ユニット



ために可能となっている。そのため設置工事が簡便（約2時間で設置可能）であるだけでなく、店舗やオフィス内のどこに設置するかを考える自由度が非常に高くなっている。

### ■コスト面のメリットにも工夫

分煙のための環境整備の必要性は認識しても、導入費用はネックになりやすい。その点を考慮して、「スモーククリア」の導入時には、初期費用0で月額使用料方式のレンタルプランと購入プランの選択が可能となっている。

加えて、機種や喫煙本数などに応じた年間フィルター交換回数など設置者側の使用頻度や環境に合わせて判断できる。

また、導入後のプラン変更も可能になっており、ランニングコストの経済性も考えやすくなっている。

この製品は、同社が20年の改正健康増進法施行をにらんで開発したもので、近年流通してきた同種の製品群の中では後発にあたる。そのため、性能面・価格面ともに欧州の先行製品などを踏まえることができており、省スペースや設置工事の簡便さに加え、コスト面でもリーズナブルな製品との評判だ。

前述の性能面のみならず、設置導入のしやすさによって、分煙をめぐる職場のストレスなど諸問題をうまく解決する環境調整を促進する役割を果たしている。

### ■狭小な飲食店に好評&オフィス需要にマッチ

同社はアミューズメント施設内の設備・備品の供給に強みを持っていたこともあり、「スモーククリア」はアミューズメントホールや飲食店など

多数の顧客が来店する施設から設置が進んできた。

これら店舗は狭小なテナント施設が多く建屋の構造の変更が難しい上、長時間の設置工事に営業時間を割くことが難しい業態でもある。それでも屋内禁煙の法定対応は必要であることから、高性能で簡易設置可能な設備ニーズは大きく、そこに適合する同製品が好感されたという。特に個人営業など小規模事業者も多い飲食店向けには、3カ月間無償で同製品を店内設置し試用してもらえる「トライアルプラン」も提供するなど柔軟な提供体制をとっている。

こうした狭小な店内環境に生じやすい様々な制約から生じるニーズは、一般企業のオフィスや製造現場にも多く共通するものだ。同社が、それら店舗営業上のニーズに応え続けてきた経験は、「スモーククリア」の性能品質と設置や費用面での利便性に生かされている。

そしてそれは、多様な企業の職場環境においても高い汎用性が期待できる。実際、最近ではオフィスへの供給数も増加しているという（図表3）。前述のとおり簡易な設置方法が特長になっており、導入の相談から設置が完了するまで最短3週間で対応できるスピード感も魅力的だ。

### ■ 「クリア分煙」という環境調整のコンセプト

そうした多くの利点を持つ「スモーククリア」だが、同社がその開発から供給にあたって掲げ続けている製品コンセプトが「クリア分煙」だ。

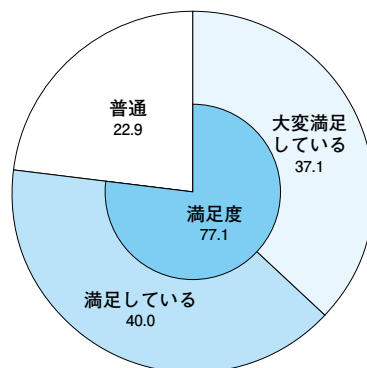
「クリア分煙」とは、「タバコを吸う人だけでなく、吸わない人にとっても快適な環境を整える」という考え方である。禁煙を単にスローガン化して安易に分煙するだけでは、喫煙者と非喫煙者の間の小さなコンフリクトの解消は難しいという現実を捉えたものといえる。

喫煙場所というと、悪臭やヤニの色の染みついたイメージが過去にはあった。それを職場環境から単純に遠ざけようとしても、現実の諸問題は容易に解決できなかった。そうした過去のイメージを払拭し、タバコの臭いを漏らさないだけでなく喫煙者の服や髪に付着させないレベルの高性能ブースを安価に供給し、職場や店舗で共に過ごす全ての人が、喫煙の有無に関わらず快適にすごせる環境を整備すること、それを同社は「クリア分煙」

図表3 「スモーククリア」設置の室内イメージ



図表4 「クリア分煙」の分煙効果と費用対効果の満足度 (%)



というかたちで明確に打ち出している。その具体化が、「スモーククリア」という高性能喫煙ブースなのだ。

職場および対人サービスの現場で、喫煙者と非喫煙者がどう共生できるかという現実的な課題のソリューションとして、「クリア分煙」という概念は有用だろう。

現在、「スモーククリア」の導入実績は全国で3,000台以上であり（23年3月時点）、利用者アンケートにおいて分煙効果の満足度は88.5%、費用対効果の満足度も77.1%と高評価にあるという（図表4）。

エルゴノミクス（人間工学）によって、喫煙をめぐる現実課題の解消を目指している同社製品の今後に注目したい。

#### 注1 厚生労働省基準

- ・ 出入口において室外から室内への気流0.2m/s以上
- ・ 総揮発性有機化合物の除去率95%以上
- ・ 室外に排気される空気中の浮遊粉じん量0.015mg/m<sup>2</sup>以下

注2 「スマートクリア」はフィルターで有害物質を処理し、浄化された空気を室内に循環させる内部排気システム。厚生労働省基準をクリアしている（ダクト工事による外部排気が諸事情で困難な場合に経過措置として設置が認められている）